

AFAF

ART FAIR ASIA
FUKUOKA
2024



Closing Report
開催報告書



福
VIP

Museum Partners



FaN Week
2024

2024.9.14.-2025.4.8.

福岡市美術館



Best Collection II

2024.9.14.-2025.4.8.

福岡市美術館



Lions of Art and Light

福岡市美術館



コレクターズIII

福岡市美術館



79th 山下津県展

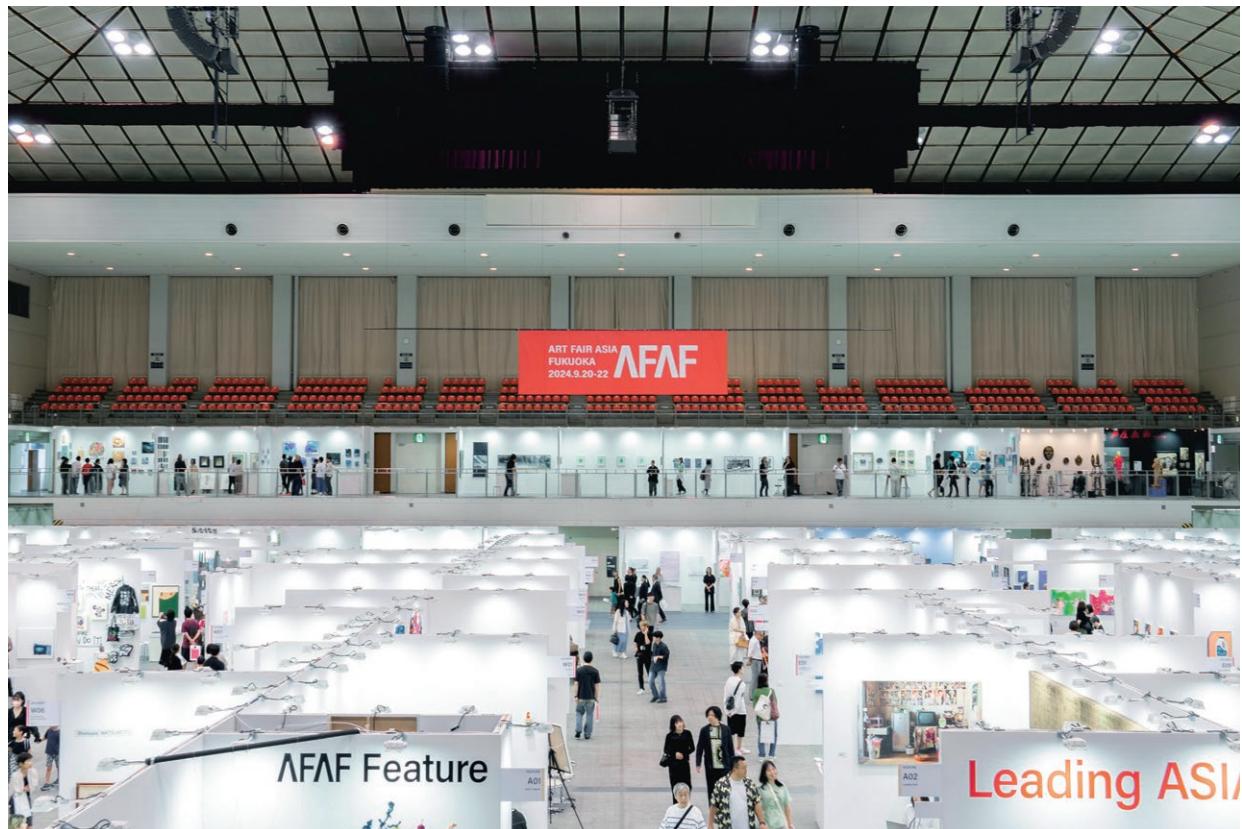
福岡市美術館



Contents

目次

- 3 Organizer's Foreword | 主催者あいさつ
- 4 Overview and Results | 開催概要及び実績
- 5 Partners | パートナー
- 6 Exhibitors | 出展者
- 12 AFAF Feature
- 13 Leading Asia
- 14 AFAF Masters
- 15 First Collection
- 16 Focus / Masters
- 20 AI Art Concierge | AIアートコンシェルジュ
- 21 Private Bottle | プライベートボトル
- 22 Talk Session | トークセッション
- 25 Guide Tour | 会場内ガイドツアー
- 26 Collaborative Program | 連携プログラム
- 28 Vernissage | ヴェルニサージュ
- 29 Reception Party | レセプションパーティー
- 30 Satellite Program | サテライトプログラム
- 32 Food & Drink | フード & ドリンク
- 33 Associated Program | 関連プログラム
- 34 Pre-event | プレイイベント
- 35 Benefits | 特典
- 36 Visual Identity | ビジュアルアイデンティティ
- 37 Products | 制作物
- 38 Website / Social Media | ウェブサイト / SNS
- 39 Public Relations | 広報
- 40 Advertising | 交通広告および会場周辺広告
- 44 Volunteer Staff | ボランティア
- 45 Visitor Survey | 来場者アンケート
- 46 Organization | 運営組織





Organizer's Foreword

主催者あいさつ

福岡にあふれるアートの熱気

9月19日(木)～9月22日(日)の4日間にかけて、福岡国際センターにて「ART FAIR ASIA FUKUOKA 2024」(AFAF2024)を開催いたしました。

ご出展者・アーティストの皆様、ご協力をいただいたパートナーの皆様、運営・ボランティアスタッフの皆様、ご来場者の皆様に御礼申し上げます。

9回目となる本年は、日本とアジア諸国の“交流拠点”として会場を構成し、「アジア」「福岡・九州」のアーティストをフォーカスする取り組みを行いました。また評価の確立された著名なアーティストの作品展示や、アートコレクションの第一歩をテーマにしたブースを新設いたしました。さらに、九州をはじめとする国内外の美術館や大学、企業、アートフェアと連携し、アジアをコンセプトにしたアートフェアとしてより一層の発展を目指しました。

古くからアジア諸国との人流・物流の拠点として多様性を育み、発展を続ける福岡で、より多くの人々にアートの魅力と熱気を感じていただき、福岡がアジアをはじめとする世界に開かれたアートの街になればと、そのような思いで運営しております。

いよいよ来年は10回目の節目を迎えます。このART FAIR ASIA FUKUOKAが、福岡だけではなく、福岡・九州から日本の、アジアのアートシーンを活気づけるアートフェアとして存在意義を確立できる様、多くの方々と協力し、発展させていきたいと思います。来年も皆様とお会いできることを楽しみにお待ちしております。

一般社団法人アートフェアアジア福岡
代表理事

阿部 和宣



Overview and Results

開催概要及び実績

名称 ART FAIR ASIA FUKUOKA 2024

会期 2024年9月20日(金)～9月22日(日)

※2024年9月19日(木)は招待者・報道関係者向け内覧会

VIP View

9月19日(木) 13:00 - 19:00

Public View

9月20日(金) 11:00 - 19:00

9月21日(土) 11:00 - 19:00

9月22日(日) 11:00 - 18:00

メイン会場 福岡国際センター

サテライト会場 福岡空港 国内線旅客ターミナルビル1F到着口 / 北

博多ポートタワー・博多港ベイサイドミュージアム

awabar Fukuoka

主催

**ART FAIR ASIA
FUKUOKA**
(一社)アートフェアアジア福岡

共催

福岡市
FUKUOKA CITY

Culture
Vision
Japan

来場者数

10,259人(4日間合計)

売上総額

¥280,000,000

出展者数

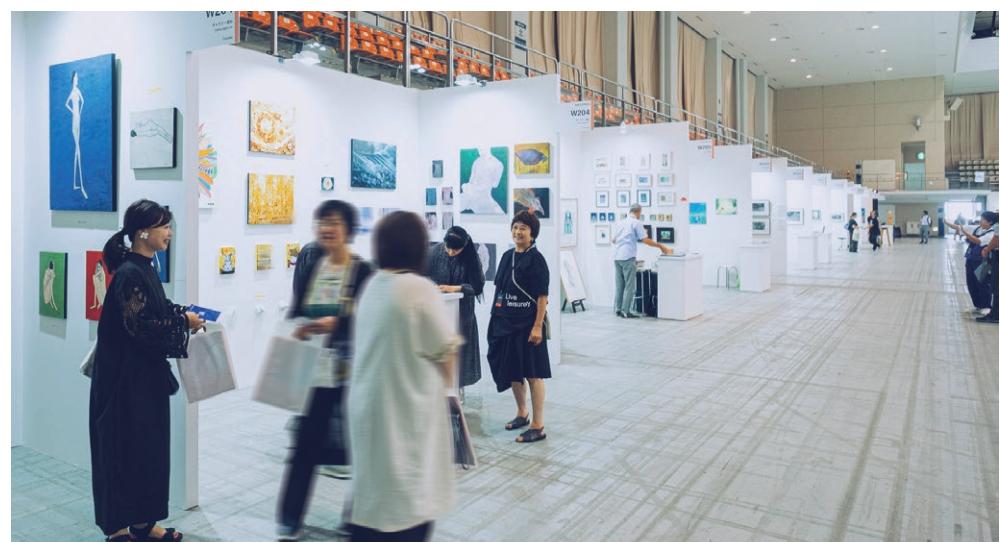
98 (国内ギャラリー:80 / 海外ギャラリー:8 / 企業・団体等:10)

出展アーティスト数

約400人

出展作品数

約1,600点



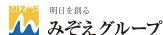
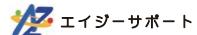
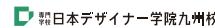
Partners

パートナー

協賛



まちに、夢を描こう。



特別協力

株式会社TODOROKI / 株式会社ケイ・スリー・クリエーション /
株式会社イーストクルー / 一般財団法人 福岡コンベンションセンター /
日本図書輸送株式会社 / 相互運輸株式会社 / 株式会社サエキジャパン

協力

西吉田酒造株式会社 / 株式会社 千鳥饅頭総本舗 /
株式会社アイ・ダヴリュー・エイ・ツアーアrtist Cafe Fukuoka /
ウヰスキートーク福岡 / Bar Higuchi / Kyoto Fine Wine and Spirits株式会社 /
CHOCOLATERIE MARQUE PAGE / 福博ツナグ文藝社 /
CLICK COFFEE WORKS / コーヒープランナー株式会社 /
福岡国際空港株式会社 / 株式会社cosa / GohGan / awabar Fukuoka

後援

福岡県 / 経済産業省九州経済産業局 / 公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー /
福岡地域戦略推進協議会 / 一般社団法人 九州経済連合会 / 福岡商工会議所 /
公益財団法人 九州経済調査協会・BIZCOLI / 西日本新聞社 / RKB毎日放送 / KBC /
テレビ西日本 / FBS福岡放送 / テレQ / 台北駐福岡経済文化辦事處 /
駐日インドネシア共和国大使館 / 在福岡カンボジア王国名誉領事館 /
在大阪フィリピン共和国大使館 / 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランスセ

ローカルパートナー

Fukuoka Now

ミュージアムパートナー

福岡アジア美術館 / 福岡市美術館 / 福岡市博物館 / 福岡県立美術館 /
大分県立美術館 / 久留米市美術館 / 九州産業大学美術館

メディアパートナー

Ocula / 美術手帖 / Tokyo Art Beat / アートコレクターズ

アートフェアパートナー

Art Fair Beppu 2024 / KOBE ART MARCHÉ /
ULSAN INTERNATIONAL ART FAIR



本事業は観光庁令和5年度補正予算事業「特別な体験の提供等による
インバウンド消費の拡大・質向上推進事業」において採択されました

Exhibitors

出展者

アートフェアとしては国内最大規模となる5,000平米超の展示面積を持つ福岡国際センターに、その特性を活かした2フロアの立体的なブースを構成。個性豊かなギャラリーが集まる「Galleries」、企業・学校等の団体による「Collaboration」では、国内外から98の出展者が選りすぐりの作品を紹介しました。また「Feature」(12-15頁)では、特別なブースを展開しました。

Galleries

88 ギャラリー

aaploit (東京)	ギャラリー広田美術 (東京)	GALLERY NAO (東京)	四季彩舎 (東京)
AaP/roidworksgallery (東京)	一番星画廊 (東京)	靖雅堂 夏目美術店 (東京)	秋華洞+SCENA (東京)
ADMIRA Gallery (香港)	石川画廊 (東京)	nca nichido contemporary art (東京)	春風洞画廊 (東京)
A-forest Gallery (福岡)	智画廊 (ブサン)	Nii Fine Arts (大阪)	GALLERY SOAP (北九州)
アート・コレクション中野 (名古屋)	JILL D'ART GALLERY (名古屋)	N project (大阪)	GALLERY TARGET (東京)
ARTDYNE (東京)	JINEN GALLERY (東京)	ギャラリー尾形 (福岡)	GALLERY 龍屋 (愛知)
アートフロントギャラリー (東京)	川田画廊 (神戸)	Oh studio Hiroshima (広島)	Gallery 天地人 (霧島)
Artglorieux GALLERY OF TOKYO (東京)	ケンジタキギャラリー (名古屋 / 東京)	Gallery 蠟 (大阪)	The Tolman Collection (東京 / ニューヨーク)
Gallery Art Space (西宮)	木之庄企畫 (東京)	RA art Gallery (横浜)	ときの忘れもの (東京)
Art Underground (メトロマニラ)	北井画廊 (東京)	gallery 蓮依 (鎌倉)	東京画廊+BTAP (東京 / 北京)
アートゾーン神楽岡 (京都)	KOKI ARTS (東京)	GALLERY 麟 (東京)	TOMOHIKO YOSHINO GALLERY (東京)
芦屋画廊 kyoto (京都)	KOUICHI FINE ARTS (大阪)	レントゲン (東京 / 金沢)	TomuraLee (東京 / ホーチミン)
アトリエ三月 (大阪)	小山登美夫ギャラリー (東京)	S&S ART PRO'J (SPACE HI) (ソウル / ブサン)	Gallery Tony (ボラカイ島・フィリピン)
長亭 GALLERY (東京)	GALLERY KTO (東京)	SAN Gallery (台南)	gallery UG (東京 / 大阪)
GALLERY CLEF (岐阜)	画廊くにまつ青山 (東京)	3ta2 SANTANI GALLERY (愛媛)	ギャラリーウツロブネ (名古屋)
Gallery ColonB (:b) (ソウル)	LE METTE GALLERY (広島 / 岡山)	SASAI FINE ARTS (東京)	和田画廊 (東京)
COMBINE/BAMI gallery (京都)	MEDEL GALLERY SHU (東京)	サテライツ・アート・ラボ (東京)	YIRI ARTS (台北)
Contemporary HEIS (東京)	みさき画廊 (大分)	Gallery惺SATORU (東京)	YOD TOKYO & Editions (東京 / 大阪)
福岡日動画廊 (東京 / 名古屋 / 福岡 / パリ)	みぞえ画廊 (東京 / 福岡)	Gallery Seek (東京)	YUGEN Gallery (東京 / 福岡)
Goyo Gallery (東京)	モノノアハレヲ (福岡)	芝田町画廊 (大阪)	YUKIKOMIZUTANI (東京)
林田画廊 (東京)	ギャラリーモリタ+画廊香月 (福岡 / 東京)	Shibayama Art Gallery (東京)	YUMEKOUBOU GALLERY (京都 / 香港 / パリ)
HENKYO (東京)	ギャラリー MOS (松阪)	至峰堂画廊 (東京)	悠遊舎ぎゃらりい SAPPORO (札幌)

Collaboration 10 企業・団体

Gallery CONTAINER (福岡)

Fukuoka Wall Art Project 2024 (福岡)

HAKATA HANKYU ART SHIP (福岡)

Jun_Im (東京)

JOY俱楽部アトリエプラヴォ (福岡)

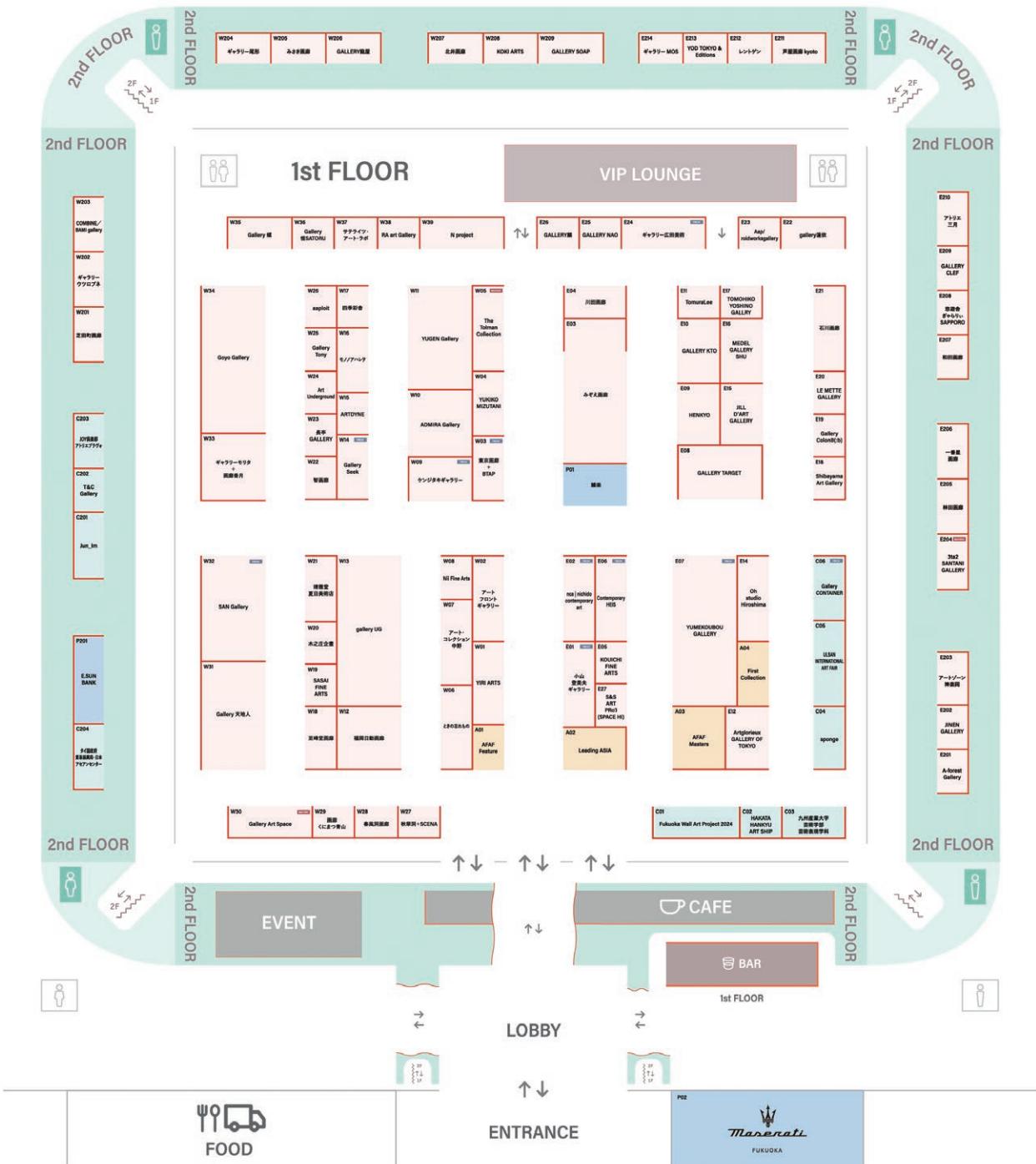
九州産業大学 芸術学部 芸術表現学科 (福岡)

sponge (福岡)

T&C Gallery (沖縄)

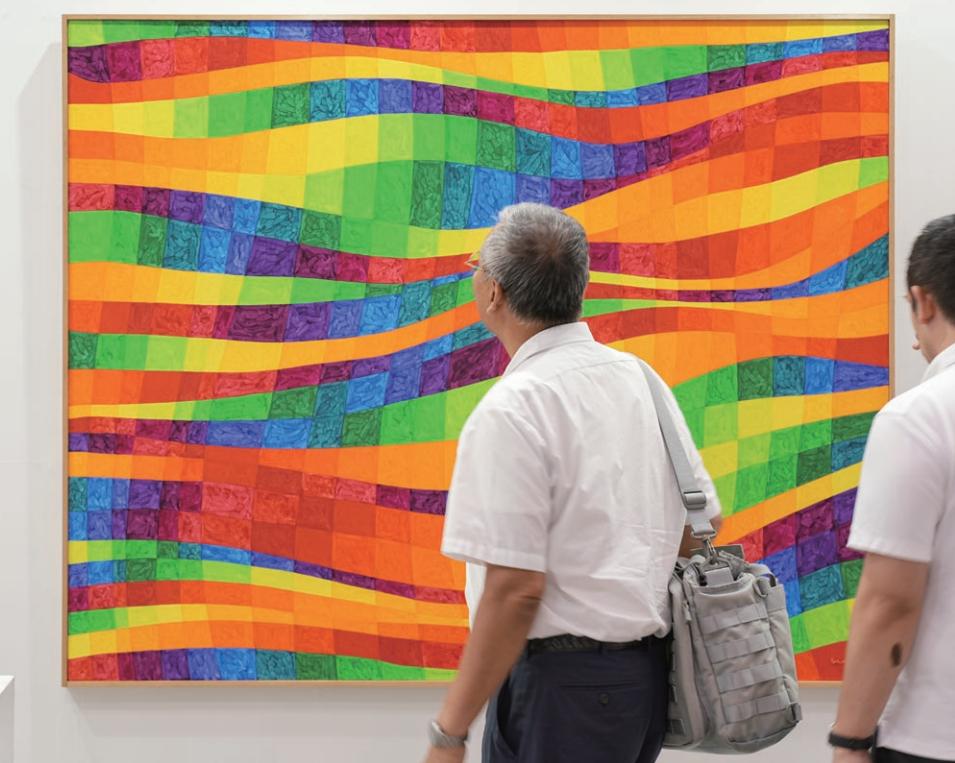
タイ国政府貿易振興局・日本アセアンセンター (広島 / 東京)

ULSAN INTERNATIONAL ART FAIR (ウルサン)





Nakajima Mugi Exhibition







AFAF Feature

アジアと福岡で活躍する 2人のアーティストに焦点を当てる

AFAF初の試みとして、アジアと福岡で活躍する2人のアーティストに焦点を当てました。アジアからはインドネシアを代表し、福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンスの2024年度招聘作家であるエコ・ヌグロホ、福岡からは第2回福岡アートアワード市長賞を受賞した、福岡を拠点に活動するアーティスト、ソー・ソウエンを紹介。特別ブース「AFAF Feature」では2人の作品を展示し、広報物のメインビジュアルに作品を起用、またエコ・ヌグロホのWebインタビューやグッズ販売をいたしました。さらにソー・ソウエンによるパフォーマンス(「FaN Week 2024」企画)を行いました(詳細33頁)。

協力：アートフロントギャラリー / GALLERY SOAP



AFAF Featureブース



エコ・ヌグロホ(左)とソー・ソウエン(右)の作品を起用したAFAF2024ポスター



エコ・ヌグロホの《Future Fungs #2》を被る来場者

Leading Asia

アジアで注目されている アーティストの作品を紹介

「Leading ASIA」では、世界的なアートコレクターである宮津大輔氏のキュレーションによるグループ展を開催しました。

「Never Ending Story(終わりなき物語)」をテーマに、アジアを代表するギャラリーから、最も注目されるアーティスト達が手掛けた多様な作品を展示しました。

それらは、急速な経済発展の一方で、政治、民族、宗教などが複雑に絡み合った社会問題を抱えるアジア地域の「今」を、鮮やかに表現していました。nca | nichido contemporary art(東京)や、Sa Sa Art Projects(カンボジア・プノンペン)など過去にLeading ASIAでも紹介したギャラリーに加え、今年はマレーシアからA+(クアラルンプール)が初めて参加しました。気鋭の日本若手アーティストも加えて、総数12点を展示。シンガポール・ビエンナーレを皮切りに、アジア各国で数多くの展覧会への参加実績を誇るタイ・ベースの広木兼太郎(Kentaro Hiroki)や、現在の地球的な関心事である環境問題に取り組むカンボジアのコン・シデン(Kong Siden)、そしてディアスボラをテーマにダッカ・アート・サミットなどで精力的に作品を発表してきたマレーシアのガン・チン・リー(Gan Chin Lee)といったアジア地域の最旬アーティスト達による注目の作品を、日本で初めて展示・販売しました。

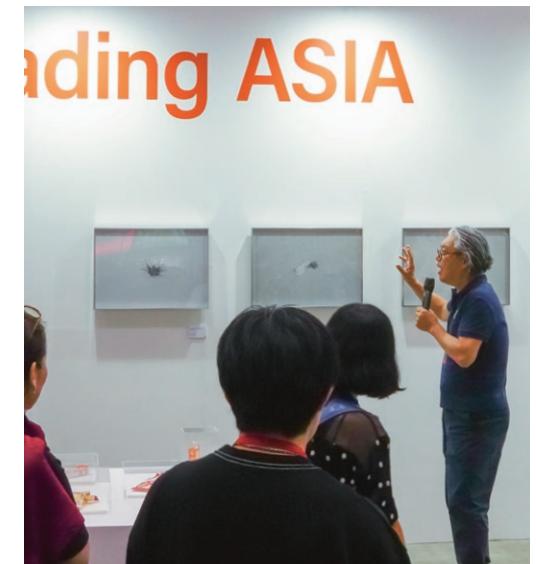
(AFAF2024 スペシャルアドバイザー 宮津 大輔)



Leading ASIAブース



林千歩の映像作品を見る来場者



AFAF2024 スペシャルアドバイザー 宮津大輔が自ら解説する場面も

AFAF Masters

物故作家を中心に、評価の確立された 著名アーティストの作品を展示

「AFAF Masters」では、物故作家を中心に、評価の確立された著名なアーティストの作品を展示販売いたしました。

近年、美術館や国際展で活躍し、長い活動歴を持つアーティストたちへの注目が高まっています。AFAF2024出展者の協力により、これらの価値ある作品を一堂に集め、鑑賞する貴重な機会をお届けすることができ、ご好評いただきました。

出品作家：

アンリ・マティス / 梅原 龍三郎 / クリスト / 黒田 清輝 / 里見 勝藏 / 田中 敦子 / パブロ・ピカソ /
福田 平八郎 / 藤島 武二 / 藤田 翠治 / フランク・ステラ / モーリス・ド・ヴラマンク

協力：

アートフロントギャラリー / RA art Gallery / 石川画廊 / N project / ギャラリー広田美術 /
gallery UG / SASAI FINE ARTS / 至峰堂画廊 / 春風洞画廊 / 林田画廊 / 福岡日動画廊 /
みぞえ画廊

(ともに五十音順)



AFAF Mastersブース



TVニュースで放送され、話題となったアンリ・マティスの《赤い背景の裸婦》

First Collection

アートコレクションの第一歩となる 「はじめての作品」

アートコレクションの第一歩となる「はじめての作品」をテーマにした「First Collection」。アートに興味を持つ方々が最初に購入する作品として選びやすいよう、飾りやすいサイズと手頃な価格の作品を集め、この場で出会った自分だけの「はじめての作品」がアートコレクションの世界へ踏み出すきっかけとなるような展示を企画いたしました。

出品作家（一部）：

アサノ ジュンコ / 梅原 義幸 / 浦川 大志 / 岡崎 実央 / kalua / 川本 実果 / 甲村 有未菜 / 小林 薫乃 / すぎもり えいとく / スズキ シノブ / 高橋 弘子 / 竹馬 紀美子 / 千葉 紅雪 / Theo Haze / 苦米地 正樹 / naoko shimagami / 中島 麦 / 西川 由里子 / 西原 東洋 / 仁添まりな / Paco Anne / 八太 栄里 / 福嶋 さくら / 松本 セイジ / 美浪 文 / 八頭司 昂 / 山羽 春季 / 弓指 貴弘 / Yun Yeejin / YOHEY

協力：

Gallery Art Space / ARTDYNE / 芦屋画廊kyoto / aaploit / ギャラリーウツロブネ / A-forest Gallery / 北井画廊 / 木之庄企画 / GALLERY KTO / GALLERY CLEF / Contemporary HEIS / サテライツ・アート・ラボ / 3ta2 SANTANI GALLERY / Gallery Seek / 四季彩舎 / 芝田町画廊 / ときの忘れもの / TOMOHIKO YOSHINO GALLERY / GALLERY NAO / 林田画廊 / ギャラリー広田美術 / 福岡日動画廊 / YUKIKOMIZUTANI / みぞえ画廊 / ギャラリー MOS / モノノアハレヲ / gallery UG / 悠遊舎ぎゃらりい SAPPORO / LE METTE GALLERY / YUMEKOUBOU GALLERY

（ともに五十音順）



First Collectionブース



飾りやすいサイズと手頃な価格の作品に興味を持つ来場者

Focus / Masters

注目アーティストに焦点を当てる

AFAF2024では、さまざまな出展者の中からAFAFが注目する国内外で活躍するアーティスト10名を「Focus」、著名かつ評価が確立されているアーティスト3名を「Masters」として紹介しました。

アートフェアを日本とアジア諸国が交流する大きな一つの“アジア”と捉えたAFAF2024ならではの構成として各ギャラリーブースにて展開し、Webサイトでの紹介やサインなどによって来場者が行き交うきっかけを作りました。



徐永旭作品を展開したSAN Galleryブース

[Focus]

Ayako Someya 東京画廊+BTAP
井口 麻未 Gallery CONTAINER
浦川 大志 Contemporary HEIS
岡崎 実央 Gallery Seek
クゥワイ・サムナン 小山登美夫ギャラリー¹
塩田 千春 ケンジタキギャラリー²
徐 永旭 SAN Gallery
タワン・ワトウヤ nca | nichido contemporary art
中島 麦 YUMEKOUBOU GALLERY
福嶋 さくら ギャラリー広田美術

[Masters]

篠田 桃紅 The Tolman Collection
嶋本 昭三 Gallery Art Space
寺田 至 3ta2 SANTANI GALLERY

(ともに五十音順)



The Tolman Collectionブースで篠田桃紅作品を説明する様子



YUMEKOUBOU GALLERYブースの大作に見入る来場者と中島麦







西

ART FAIR ASIA
FUKUOKA 2024.9.20-22
AFAF

Mana Osawa

Yuu Minamimura

AFAF Masters

First Collection

C03

C04

AI Art Concierge

AIアートコンシェルジュ

アート作品との出会いを手伝う 日本初のAIアートコンシェルジュ

AFAF2024では、アートをもっと身近に感じ、多くの方にアートフェアをもっと楽しんでほしいという想いを実現させるために、日本初のAIアートコンシェルジュ「α(アルファ)コンシェルジュ」を開発、導入いたしました。

AFAFはここ数年で大きな成長を遂げ、今年は98の出展者が数多くの作品を展示しました。バラエティ豊かな作品が数多く集まつたことで、新しい作品を探すワクワク感が増えた一方、作品数の増加により自分にあった作品との出会いは難しくなりました。そうしたなか、AFAFではスタートアップ都市である福岡らしい解決策を模索し、AIアートコンシェルジュの開発に至りました。

「αコンシェルジュ」は、AIと会話しながら、パーソナリティや好みにあった作品を簡単に見つけられるサービスです。この提供によって、今まで VIPに提供されていたアートコンシェルジュとアートフェアを巡る体験を誰でも気軽に楽しむことができます。

会場内の特設スペース及びLINE botで提供され、作品に関する質問だけでなく、「カフェはどこにある?」「楽しいイベントに参加したい!」など、AFAF2024に関するさまざまな質問にも答えることができます。AIアートコンシェルジュを活用し、アートの祭典AFAF2024をよりスムーズにお楽しみいただくことができました。

特別協力：株式会社TODOROKI



会場入口付近に設置されたAIアートコンシェルジュ



来場者が話しかけると動き出す

Private Bottle

プライベートボトル

アート × シングルモルトウイスキーの コラボレーション

九州最大のウイスキーの祭典「ウイスキートーク福岡」と連携し、アート × シングルモルトウイスキーのコラボレーションとして「AFAF Private Bottle Series」をスタート。日本とアジアを結ぶ交流都市“福岡”で開催されるアートフェアとして、「福岡・九州」や「アジア」と関わるアーティストの作品をラベルにあしらったプライベートボトルを展開いたしました。

記念すべき第1回の今年は、戦後の日本美術史に大きな足跡を遺した福岡の巨匠・野見山暁治(1920-2023)と、120年以上の歴史を持つスコッチウイスキーであるグレンマレイがコラボレーションしました。スコットランドのスペイサイド地方にあるグレンマレイ蒸溜所のモルトを樽買い(シングルカスク)し、101歳の野見山暁治が描いた「今からのはなし」(2022)をラベルとしました。

プライベートボトルは130本の完全限定販売。8月下旬よりAFAF2024公式サイトの特別ページより予約販売を開始し、AFAF2024会場でもエントランスに展開した「Art Bar」コーナーにて数量限定で提供し、完売いたしました。

プライベートボトル | 野見山 暁治「今からのはなし」(2022) × Glen Moray 15 years old

野見山暁治の作品をラベルに仕立てた、シングルモルトかつシングルカスクのスコッチウイスキー・グレンマレイ。スペイサイド・モルトらしく華やかで上品なアロマとフレイヴァーです。バランス感良く、飲み疲れしません。

蒸留所: グレンマレイ蒸留所 / 蒸留年: 2007 / 瓶詰年: 2024 / アルコール度数: 51.3% /

ボトリング本数: 130 / 熟成樽: バーボンバレル / 熟成年: 15年 /

協力: ウイスキートーク福岡 / Bar Higuchi / Kyoto Fine Wine and Spirits 株式会社



Talk Session

トークセッション

多様な顔ぶれの登壇者による会場プログラム

会期中の3日間、国内外からアート関係者を招き、トークセッションを実施いたしました。アーティストやギャラリスト、起業家、アートコレクター、キュレーターといったアートシーンの第一線で活躍する方々に、普段は聞くことのできない業界の最前線のトピックや課題、アートの魅力について語っていただきました。また当日は、会場に足を運べない方にもお楽しみいただけるよう、YouTube Liveにてリアルタイム配信も行いました。



マレーシア・アートシーンの現在地 | プログラムの様子

2024/09/20(Fri)

13:00-14:00 国際金融に携わるプロが捉えるアートの意義とその魅力

2021年・G20の「ローマ宣言」にて、文化が持続可能な社会経済の回復エンジンと位置づけられ、「アートによる持続可能な経済の創出」がグローバルに期待されています。こうした環境下、日本が世界アート市場で拡大する余地とその可能性とその意義について、金融の視点より論じられました。

登壇者

永倉 義孝 (LGTウェルスマネジメント信託株式会社 代表取締役会長 プライベートバンкиングジャパンCEO)

モデレーター

三田 丞次 (AFAF2024 グローバル・エグゼクティブ・アドバイザー)



国際金融に携わるプロが捉えるアートの意義とその魅力 | (左から)三田丞次、永倉義孝

14:30-15:30 アートと生活の交差点

2025年4月24日開業予定のONE FUKUOKA BLDG.の開発とアートに関わるメンバーによるトークイベントを開催。「アートと生活の交差点」をテーマに、都市開発とアートの関係を探っていただきました。

登壇者

鹿児島 陸 (陶芸家・アーティスト)

加藤 育子 (スパイラル / 株式会社ワコールアートセンター アート事業部 部長・キュレーター)

花村 武志 (西日本鉄道株式会社 天神開発本部福ビル街区開発部 部長)

進行役・ファシリテーター

井手 健一郎 (建築家 / 株式会社リズムデザイン 代表取締役)



アートと生活の交差点 | (左から)井出健一郎、鹿児島陸、加藤育子、花村武志

2024/09/20(Fri)

16:30-17:30 交差するインドネシアと福岡のアートシーン

福岡にも縁が深く、インドネシアを代表するアーティストであるエコ・ヌグロホが登壇。島ごとに宗教や文化が異なるインドネシアにおけるアートシーンを、日本との比較を含めながら、世界的コレクターの宮津大輔氏に深掘りしていただきました。

登壇者

エコ・ヌグロホ (アーティスト)

モデレーター

宮津 大輔 (AFAF2024 スペシャルアドバイザー)



交差するインドネシアと福岡のアートシーン | エコ・ヌグロホ

2024/09/21(Sat)

13:30-14:30 アート・エコシステムの構築におけるコレクションの役割

起業家、アートコレクターとして広く活動されている高橋隆史氏、小山登美夫ギャラリーのディレクターである小山登美夫氏、美術史家でキュレーターの沓名美和氏を招き、作品との出会いの連鎖や新たな繋がりが及ぼす可能性について語っていただきました。

登壇者

高橋 隆史 (アートコレクター / 株式会社ブレインパッド共同創業者, 取締役会長)

小山 登美夫 (小山登美夫ギャラリー オーナー / ディレクター)

モデレーター

沓名 美和 (鲁迅美術学院教授 / 多摩美術大学客員教授 / 現代美術史家 / キュレーター / ディレクター)



アート・エコシステムの構築におけるコレクションの役割 | (左から)高橋隆史、小山登美夫

15:30-17:00 同時代のアートマーケットの中心にあるアートフェア - 戦略の事例 -

現釜山市立美術館学芸室長であり、KIAF、ART BUSAN、G SEOULなど韓国的主要なアートフェアのディレクターを務めた鄭鍾孝氏に、この20年間で感じたアートフェアとアートマーケットの変化や、最新の動向について語っていただきました。

登壇者

鄭 鍾孝 (釜山市立美術館 学芸室長 / 釜山ビエンナーレ実行委員 / 韓国キュレーター協会理事 / 前. KIAF, ART BUSAN, G SEOUL Director / 中央日報アート事業総括)

モデレーター

森田 俊一郎 (一般社団法人アートフェアアジア福岡 理事 / Gallery MORYTA 代表)



同時代のアートマーケットの中心にあるアートフェア - 戰略の事例 - | (左から)森田俊一郎、鄭鍾孝



2024/09/22(Sun)

11:30-12:30 マレーシア・アートシーンの現在地

多民族国家であり、中所得国の罠から順調に脱却しつつあるマレーシア。同地の多様なアートについて、A+ Works of ArtオーナーのJoshua Lim氏と、彼が手掛けるアジア地域のアーティスト達がこれからのアートについて語り合いました。

登壇者

広木 兼太郎(アーティスト)

Mary Pakinee(アーティスト)

Joshua Lim(A+ Works of Artディレクター兼オーナー)

モデレーター

宮津 大輔 (AFAF2024 スペシャルアドバイザー)



マレーシア・アートシーンの現在地 | (左から)宮津大輔、広木兼太郎、Joshua Lim、Mary Pakinee

16:15-17:15

アーティストからみた福岡 × アートの可能性

福岡出身の次世代を担う若手作家の井口麻未、浦川大志、ソー・ソウエンと、美術史家でキュレーターの沓名美和氏を迎えて、作家3名の地元・福岡のアートシーンについて語っていただきました。

登壇者

井口 麻未(アーティスト)

浦川 大志(アーティスト)

ソー・ソウエン(アーティスト)

モデレーター

沓名 美和(魯迅美術学院教授 / 多摩美術大学客員教授 / 現代美術史家 / キュレーター / ディレクター)



アーティストからみた福岡×アートの可能性 | (左から)沓名美和、ソー・ソウエン、浦川大志、井口麻未

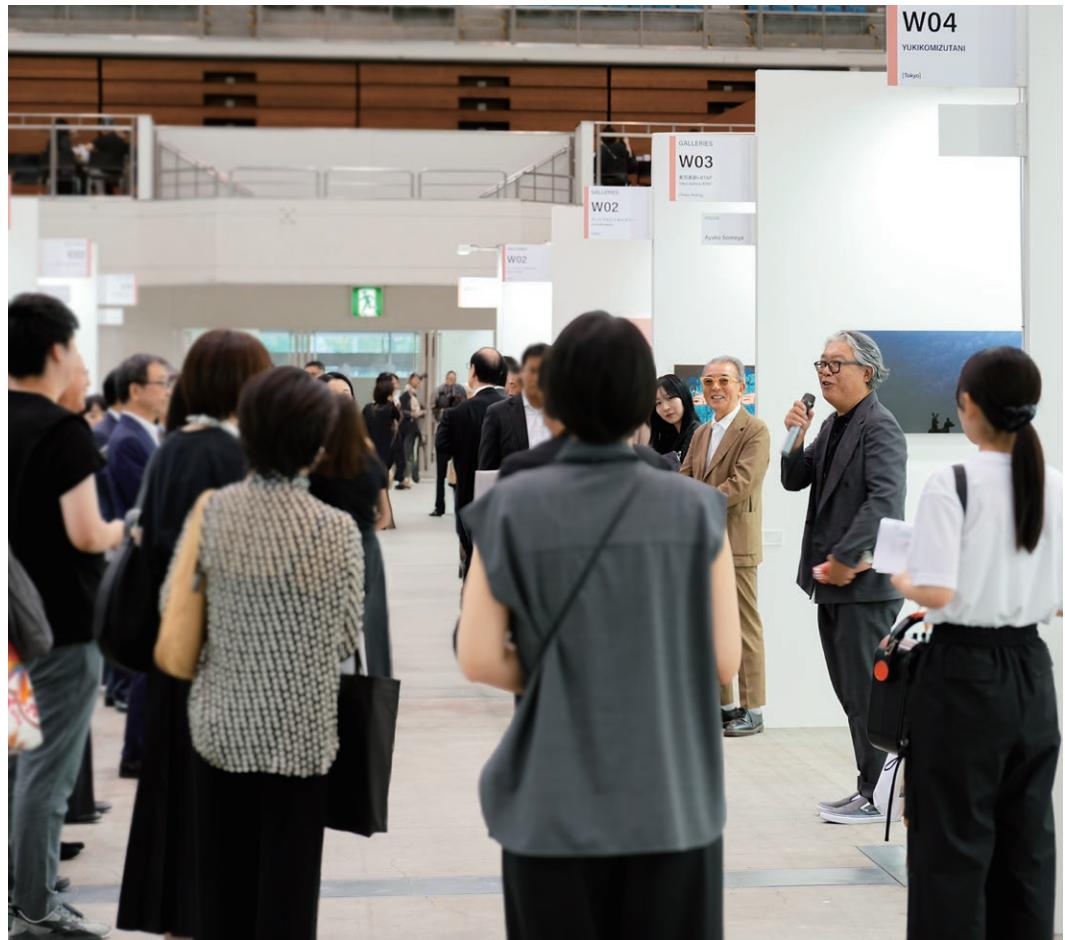
Guide Tour

会場内ガイドツアー

ツアーで理解をより深める

きめ細やかなツアーで作品に対する理解をより深めるため、AFAF2024会場では、インフルエンサーの「美術解説するぞー」やAFAF2024スペシャルアドバイザーを務める宮津大輔らによるツアー、学生向けツアーなど、よりお楽しみいただけるようなガイドツアーを多数企画・実施しました。

アートフェアに初めて来場した方から、既に作品を購入されているコレクターまで、幅広い層の皆様にご参加いただきました。



AFAF2024 スペシャルアドバイザー 宮津大輔によるツアーの様子。軽快なトークに参加者にも笑みがこぼれる



「美術解説するぞー」によるツアー



AFAF2024 スペシャルアドバイザー 宮津大輔による「AFAF Masters」の名品の解説



ツアーでは出展者による作品説明も



和やかに説明するガイド

Collaborative Program

連携プログラム

パートナーとの協力プログラム

AFAF2024のパートナーによる展示では、日本と台湾の2人のアーティストによる共同制作や、アートと車のコラボレーション展示などをお楽しみいただきました。

またメディアや美術館などパートナーのコーナーを設け、多角的にアートの紹介を行いました。さらに来場できなかった方々に向けてのオンライン販売も実施し、作品との出会いの場を広げました。

玉山銀行

台湾の玉山銀行は九州・福岡に支店を開設し、日本と台湾双方にとって利便性の高い金融サービスを提供するとともに、産学、観光、文化、芸術分野における連携・交流の促進を目指しています。

今回で2回目となるAFAFへの協賛ブースでは、福岡の人々に台湾の文化や美しい風景をより深く理解してもらうことを目的に、玉山銀行が所蔵する台湾の芸術家による絵画を展示しました。また、会場で行われた黃品玲らのライブペインティングも注目を集めました。

JOY俱楽部 アトリエプラヴォ（パートナー：株式会社福岡銀行）

株式会社福岡銀行は、アートを通じて障がい者が活躍できる社会の実現を目指し、共生社会の推進に取り組んでいます。

AFAF2024では福岡銀行の支援により、障がい者アート団体「JOY俱楽部 アトリエプラヴォ」が展出し、障がいのあるアーティストが手がけた多様で独創的な作品が披露され、来場者を魅了しました。



玉山銀行ブースで行われたライブペインティングの様子



熱心な来場者の姿が見られたJOY俱楽部アトリエプラヴォブース



うなぎ処 鰻楽

宮崎県出身の美術家である小松孝英をアートディレクターに迎え、2024年はアートを通じたPRを展開している鰻楽。その一企画である鰻楽ロゴをあしらったアートカーが会場に登場しました。日本の伝統的画法「琳派」と日本の食文化「うなぎ」を扱う鰻楽との融合をしたアートカーは来場者の注目を集めました。



マセラティ 福岡

マセラティ 福岡とのコラボレーションにより、パフォーマンスを追求したエネルギーの走りの新型「グランツアリズモ」、マセラティ史上初となるミッドサイズの新型SUV「グレカーレ」など最新モデルをご紹介いただきました。



メディアパートナー

メディアパートナーのOcula、美術手帖、Tokyo Art Beat、アートコレクターズ及びローカルパートナーのFukuoka Now が発行する各種媒体ほか、FUKUOKA ART MAPや福岡周辺ギャラリーのDM、アートフェアパートナーのArt Fair Beppu 2024のチラシなどを会場に設置いたしました。



ミュージアムパートナー

福岡アジア美術館、福岡市美術館、福岡市博物館、福岡県立美術館、大分県立美術館、久留米市美術館、九州産業大学美術館のポスター やチラシを会場に設置し、AFAF2024にご協力いただいた美術館の展覧会を来場者に紹介いたしました。



オンライン販売

8月19日(月)から9月30日(月)にかけて、コレクター向けECサービス「Art Scenes」との提携を行い、AFAF2024 出展作品のオンラインでの販売を実施しました。来場できなかった方や閉幕後に作品をほしいと思われた方に向けて、購入する機会を提供いたしました。

特別協力:

Art Scenes (株式会社TODOROKI)

Vernissage

ヴェルニサーヌ

美酒を片手に鑑賞できる 特別なひととき

AFAF2024のVIP Viewではヴェルニサーヌが開催され、来場者にはドリンクが振る舞われました。

夜空を彩る星影のような泡が煌めくスパークリング日本酒『深星』やワイン、ソフトドリンクをご用意し、来場者には美酒を片手に作品鑑賞できる特別な時間をお楽しみいただきました。

日時：2024年9月19日(木) 16:00～18:00

会場：福岡国際センター会場内

ドリンクパートナー：SAKE HUNDRED / 株式会社みぞえ



ヴェルニサーヌの美酒を楽しむ来場者の様子



ゲストに振舞されたスパークリング日本酒『深星』

Reception Party

レセプションパーティー

特別な空間で交流を深め、
AFAF2024開催を祝う

FaN Week & AFAF Night 2024及びAFAF2024 Reception Party

AFAF2024のVIP Viewが開催された9月19日(木)には、FaN Week & AFAF Night 2024(福岡市・AFAF合同)、AFAF Reception Partyを福岡アジア美術館で開催いたしました。

AFAF2024 スペシャルアドバイザー 宮津大輔氏や、共催している福岡市の高島宗一郎市長、一般財団法人大カルチャー・ヴィジョン・ジャパン理事長の井上智治氏からご挨拶があり、レセプションパーティー中には、同館で開催中の「福岡アジア美術館開館25周年記念 ベストコレクションII—しなやかな抵抗」をご観覧いただくこともできました。

日時：2024年9月19日(木) 19:00～20:00 / 20:00～22:00(2部制)

会場：福岡アジア美術館

ドリンクパートナー：SAKE HUNDRED / 株式会社サエキジャパン / 西吉田酒造株式会社

RECEPTION PARTY -artist night-

福岡を代表するシェフのレストランGohGanでも福岡のアーティストとの交流を深めるパーティーを同時開催し、AFAF開催を祝う宴にふさわしい賑わいをみせました。

日時：2024年9月19日(木) 20:00～22:00 / 22:00～24:00(2部制)

会場：GohGan



賑わう福岡アジア美術館のレセプションの様子



GohGanのテラスで談笑する姿も



レセプションパーティーで提供されたフード

Satellite Program

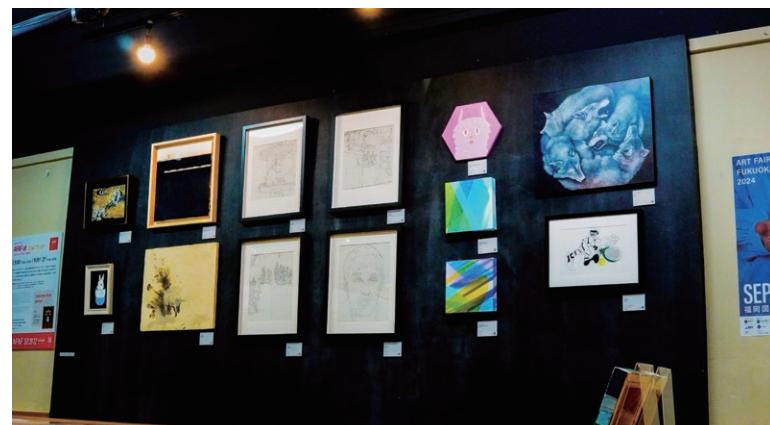
サテライトプログラム

福岡のまちをアートに染める

AFAF2024ではメイン会場である福岡国際センターを飛び出し、福岡市内3箇所にて特別企画・展示を開催いたしました。九州の空の玄関口「福岡空港」では、インドネシアを代表するアーティスト、エコ・ヌグロホの壁画《Nowhere is My Destination》を展示。福岡を訪れる人々を出迎えました。

福岡の海の玄関口「博多港」にある博多ポートタワーでは、BAYSIDE FESTIVAL 2024のオープニングイベントにて岡崎実央によるライブパフォーマンスが行われ、AFAF2024期間中作品が展示されました。

さらに起業家、エンジニア、ベンチャーキャピタル、旅人など様々な人と出会える、スタートアップ支援施設“Fukuoka Growth Next”1階に併設のスタンディングバー「awabar Fukuoka」にAFAFが登場。18日にはAFAF2024より一足先に展示した前夜祭を行い、awaとartで愉快な時間を過ごしていただきました。



AFAF at awabar

日時：2024年9月19日(木)～9月21日(土) ※9月18日(水)は前夜祭

会場：awabar Fukuoka

出品作家：岡崎 実央 / 中島 麦 / 野村 直城 / 八頭司 昂 / 市川 江真 / 苦米地 正樹 / 甲村 有未菜 / 西原 東洋 / 高橋 弘子 / スズキ シノブ /

弓指 貴弘 / naoko shimagami / イノウエ (順不同)

企画協力：Gallery Seek / YUMEKOBOU GALLERY / gallery UG / みぞえ画廊 / 福岡日動画廊 /

GALLERY CLEF / ギャラリー MOS / 芦屋画廊kyoto / 悠遊舎ぎゃらりい SAPPORO / TOMOHIKO YOSHINO GALLERY /

サテライト・アート・ラボ / モノノアハレヲ / 木之庄企画

協力：awabar Fukuoka



Waves of Art | ライブペインティングの様子

Waves of Art

日時：2024年9月20日(金)～9月22日(日)

会場：博多ポートタワー・博多港ペイサイドミュージアム

出品作家：岡崎実央

企画協力：Gallery Seek



Painting for Sky | 展示の様子

Painting for Sky

日時：2024年9月18日(水)～9月23日(月・祝)
会場：福岡空港 国内線旅客ターミナルビル1F到着口 / 北
出品作家：エコ・ヌグロホ
企画協力：アートフロントギャラリー
協力：福岡国際空港株式会社

Food & Drink

フード & ドリンク

アートと食をともに楽しむ

会場内には福岡の人気店とコラボレーションしたVIPラウンジやカフェといった飲食可能なスペースを併設。また、会場外にもフードトラックが集結し、アートと食をともにお楽しみいただきました。

Art Bar by Whisky Talk Fukuoka

九州最大のウイスキーフェス「ウイスキートーク福岡」がプロデュースする『Art Bar』では、中洲のオーセンティックバー「Bar Higuchi」が来場者に特別な一杯をサーブ。福岡の巨匠・野見山暁治(1920-2023)とグレンマレイがコラボレーションした数量限定のAFAF Private Bottle Seriesのスコッチシングルモルトの試飲＆ボトル販売、オリジナルカクテルやチョコレートを販売しました。

協力:ウイスキートーク福岡 / Bar Higuchi / Kyoto Fine Wine and Spirits 株式会社 / CHOCOLATERIE MARQUE PAGE

Art Bar

by Whisky Talk Fukuoka



VIP ラウンジ

協力: 株式会社 千鳥饅頭総本舗 / 株式会社cosa / 株式会社みぞえ



カフェコーナー

協力: CLICK COFFEE WORKS / コーヒープランナー株式会社



フードコーナー

特別協力: 株式会社サエキジャパン

Associated Program

関連プログラム

FaN Week 2024との連携

Fukuoka Art Next 推進委員会(福岡市アートのまちづくり推進担当)による「FaN Week 2024」が、9月14日(土)～9月29日(日)にかけて開催されました。

AFAF2024開催中の9月19日(木)～9月22日(日)は、AFAF2024チケットの提示にて福岡アジア美術館、福岡市美術館での「FaN Week 2024」の展覧会と、福岡市博物館を加えた、3館の全ての常設展示が無料で入場可能となりました。

またAFAF2024会場では9月22日(日)に「AFAF Feature」のアーティストのひとりであり、「FaN Week 2024」の福岡城アートプロジェクト福岡現代作家ファイル2024で展示したソー・ソウエンが、パフォーマーのクレオ・ベストペ恩とともにパフォーマンス《The Egg》を行いました。パフォーマー同士が「卵」を介しながら、自己と他者の繊細な関係性、大切なものを壊さないための身体の在り方を共同で模索するパフォーマンスは、来場者の注目を集めました。

FaN Week 2024 展覧会一覧

Artist Cafe Fukuoka / 福岡城跡

- ・福岡城アートプロジェクト 福岡城跡電磁盤踊り
- ・福岡城アートプロジェクト 福岡現代作家ファイル2024
- ・福岡アジア美術館 第22回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 空と地のはざまで

福岡アジア美術館

- ・福岡アジア美術館開館25周年記念コレクション展 ベストコレクションII—しなやかな抵抗
- ・福岡アジア文化賞受賞記念 キムスージャ展

福岡市美術館

- ・コレクターズIII — Turning the World —
- ・西日本シティ銀行コレクション展
- ・福岡市美術館開館45周年・リニューアル5周年記念 新収蔵品公開 モナ・ハトゥム《+と-》
- ・企画展 あらがう



ソー・ソウエン《The Egg》のパフォーマンスの様子



福岡アジア美術館



福岡市美術館 | 撮影:山中慎太郎(Qsyum!)

Pre-event

プレイベント

各地イベントと連携して、輪を広げる

AFAF2024開催に先立ち、西日本シティTT証券株式会社が展開する富裕層専用サロン「SAINO MICRA」で名画鑑賞会・講演会を行いました。また、福岡中洲で行われる「中洲ジャズ2024」や大分県別府市で同時期に開催される「Art Fair Beppu 2024」、AFAF2024と同日にスタートした和歌山の紀南アートウィークと連携し、AFAF2024を紹介するプレイベントを行いました。

名画鑑賞会「野見山暎治とパリ」

期間:2024年6月17日(月) ~ 6月28日(金)

会場:西日本シティTT証券株式会社「SAINO MICRA」サロン

講演会と作品解説

日時:2024年6月21日(金) 16:30 ~ 17:30 1部「野見山暎治とわたし」/ 2部「世界のアートマーケット」

講師:阿部和宣(一般社団法人アートフェアアジア福岡 代表理事 / 株式会社みぞえ画廊 専務取締役)

トークイベント AFAF × AFB 福岡と別府のアートフェアの今とこれからを語る

日時:2024年8月31日(土)

会場:Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース

登壇者:井上 雅也(一般社団法人アートフェアアジア福岡 理事 / 株式会社TODOROKI 代表取締役) / 中村 恭子(NPO法人BEPPU PROJECT 代表理事)

モデレーター:矢野 裕子(Artist Cafe Fukuoka)

Nakasu Art Session on FUKUHAKU DEAIBASHI

日時:2024年9月15日(日)

会場:福博であい橋

パフォーマンス作家:銀ソーダ

AFAF × 紀南アートウィーク特別鼎談「アジアのアーティストが挑む、流動性と共生の未来」

2024年9月18日(水)AFAF2024公式サイトにて公開

ゲスト:蔽本雄登(紀南アートウィーク 総合プロデューサー、アウラ現代藝術振興財団 代表) / ランチャイクン茉莉(アーティスト / 大阪大学大学院生) /

宮津大輔(アート・コレクター、横浜美術大学教授、博士(学術)、AFAF2024 スペシャルアドバイザー)



Nakasu Art Session on FUKUHAKU DEAIBASHI | ライブパフォーマンスをする銀ソーダ



トークイベント AFAF × AFB 福岡と別府のアートフェアの今とこれからを語る | イベントの様子

Benefits

特典

アートフェアから広がる楽しみ

VIPパス、チケットへの各種プログラム・特典をご用意しました。

VIPプログラム

- AFAF2024 Reception Party
- RECEPTION PARTY -artist night-
- VIP向けAFAF2024会場ツアー
- AFAF2024 Vernissage
- 別府・湯布院プレミアムツアー 協力：株式会社アイ・ダヴリュー・エイ・ツアー

VIP特典

- Art Fair Beppu 2024 無料招待
- レストラン「GohGan」店内飲食10%off
- カフェ・バー「WALL FUKUOKA」オリジナル赤ワインのワンドリンクサービス
- ミュージアムパートナー対象展覧会への無料入場もしくは割引入場 *チケット特典も同様

〈対象展覧会〉

- 福岡アジア美術館 | 福岡アジア美術館開館25周年記念 ベストコレクションII -しなやかな抵抗 / 福岡アジア文化賞受賞記念 キムスージャ展
- 福岡市美術館 | コレクターズIII - Turning the World - / 西日本シティ銀行コレクション展 /
福岡市美術館開館45周年・リニューアル5周年記念 新収蔵品公開 モナ・ハトゥム《+と-》/企画展 あらがう
- 福岡市博物館 | FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと
- 福岡県立美術館 | 第79回福岡県美術展覧会(県展)
- 大分県立美術館 | 大分県立美術館コレクション展III かわいい日本美術
- 久留米市美術館 | 藍のものがたり
- 九州産業大学美術館 | 牛島智子 ホクソ笑む 葉緑素



VIP向けAFAF2024会場ツアーの様子



AFAF2024 Reception Party | パーティーを盛り上げたDJのパフォーマンス



別府・湯布院プレミアムツアー | ホテル ガレリア御堂原

Visual Identity

ビジュアルアイデンティティ

フェアを可視化するビジュアル

AFAF2024の会場となった福岡国際センターは、大相撲九州場所でも使用されている正方形の形状となっています。特徴的なパースの効いたキービジュアルは、この正方形(キューブ)をイメージしてデザインされました。

キューブという形は自然界に存在せず、人の手によって生み出される形状です。

アートフェアも、何もないところから関係者の強い信念によってつくり出され、出展者、アーティスト、作品、来場者の熱量が一つになることで成立します。

AFAF2024では、福岡国際センターのアーニーナ構造に選りすぐりのギャラリーが集まり、ブースを構えることで、福岡の街に唯一無二のキューブを出現させたと言えるのではないでしょうか。また、ロゴは軽快で洗練されたイメージを意識し、制作されました。



Products

制作物

AFAF2024を盛り上げるアイテム

印刷物

B2サイズポスター (第1弾2種、第2弾2種) / A4サイズフライヤー / A4サイズ二つ折りフライヤー / リーフレット(日本語・英語・韓国語・中国語 [繁体字/簡体字]) / VIP招待状 / VIP招待状封筒 / 招待券 / 引き換えチケット / ネックパス / クリアシール 他



リーフレット

グッズ

Tシャツ / トートバッグ / ステッカー



トートバッグ



引き換えチケット



A4サイズ二つ折りフライヤー (第2弾)



ネックパス



クリアシール

Website / Social Media

ウェブサイト / SNS

オンラインで最新情報を届ける

ウェブサイト

AFAF2024の最新情報を取得可能なプラットホームを目指し、出品作品やプログラムの情報を常時アップデートしてお届けしました。

またArt Scenesと連携することにより、出展作品をオンラインで購入できる仕組みを構築しました。さらにVIP用ポータルサイト機能を備え、特別な情報をVIP来場者に提供いたしました。

サイト閲覧数

合計 : 181,149(前年比143%増加)

国内 : 173,490(前年比145%増加)

国外 : 7,659(前年比109%増加)

* 期間 : 2024/9/1 ~ 10/1



ウェブサイト(PC / スマートフォン)

SNS

開催情報や関連イベントなどの最新情報のほか、出展ギャラリーや出展作家の情報をご紹介しました。期間中は#AFAF2024にて、出展者や来場者から会場の様子が連日シェアされました。

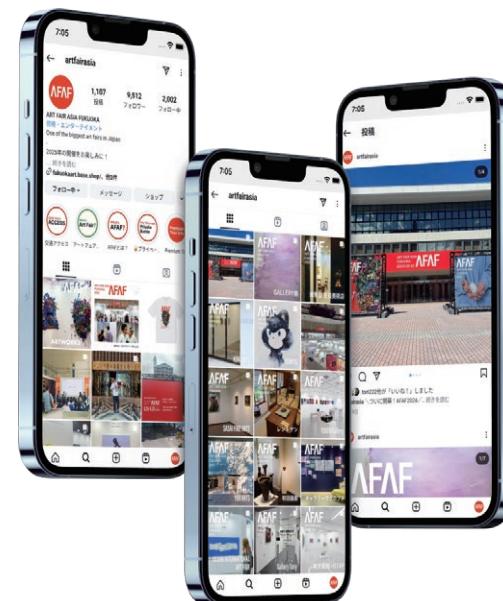
SNSフォロワー数

Instagram : 9,503 (前年比131%増加)

X (旧Twitter) : 2,332 (前年比109%増加)

Facebook : 1,268 (前年比118%増加)

* 2024/10/1 時点



SNS(スマートフォン)

Public Relations

広報

多くの人にフェアの魅力を届ける

メディアパートナーであるOcula、美術手帖、Tokyo Art Beat、アートコレクターズをはじめ、さまざまなメディアがAFAF2024を取り上げました。

【メディア掲載(一部)】 計58件(2024/10/1時点)

TV (特別番組) 1件

TNCテレビ西日本「積水ハウスグランドメゾンプレzent rich time, art life ~アートのある豊かな暮らし~」

TV (ニュース番組他) 6件

TNCテレビ西日本 / KBC九州朝日放送 / RKB毎日放送株式会社 / TVQ九州放送 /
FBS福岡放送

ウェブメディア 36件

Ocula / 美術手帖 / Tokyo Art Beat / ARTnews JAPAN / FUKUOKA NOW /

六本木未来会議 / いこーよ! / Walkerplus / 個展なび / 福岡市公式観光サイト『よかなび』/

西日本新聞me / TAP 99 / 博多経済新聞 / 天神サイト / ARTNE /

子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」 / 福岡のニュース / アクロス福岡おでかけナビ /

フクリバ 他多数

ラジオ 1件

MBCラジオ

雑誌 8件

アートコレクターズ2024年9月号 / 月刊美術2024年10月号 / Discover Japan2024年10月号 /

25ans (ヴァンサンカン) / Harper's BAZAAR art 特別版 / シティ情報Fukuoka2024年9月号 /

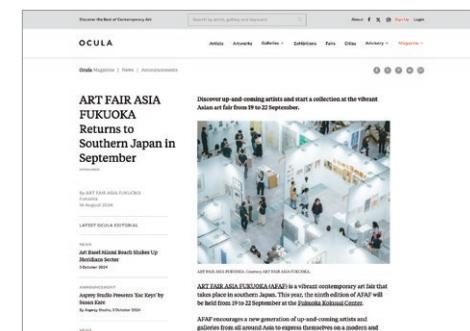
月刊はかた2024年8月号 / 九州王国2024年9月号

新聞 5件

ふくおか市政だより (9/13付) / 毎日新聞 (9/20付) / 西日本新聞 (9/13、9/16、9/21付)



会見での報道陣の様子/インタビューに答える一般社団法人アートフェアアジア福岡代表理事の阿部和宣とAFAF2024 スペシャルアドバイザーの宮津大輔



Ocula



美術手帖



Tokyo Art Beat



アートコレクターズ2024年9月号 / 会場配布フリーペーパー

Advertising

交通広告および会場周辺広告

会場外からフェアを発信

AFAF2024の開催に合わせ、福岡県内を走る西鉄天神大牟田線・西鉄貝塚線での駅構内広告・車内中吊り広告や、福岡駅前広場に大型パネルを設置しました。また岩田屋では、AFAFキービジュアルがアートイベント「IWATAYA Life with Art」キービジュアルと共に本店ショーウィンドウを飾りました。さらにフェア会場の福岡国際センターと同じペイエリアに位置する、博多港のシンボル「博多ポートタワー」がAFAF2024開催期間中、AFAFカラーの赤に染まりました。

協賛:西日本鉄道株式会社



JR博多駅前広場 大型看板



岩田屋本店 ショーウィンドウ



電車中吊り広告



博多ポートタワー

ART FAIR ASIA
FUKUOKA
2024.9.20-22

AFAF

AFAF
ART FAIR ASIA
FUKUOKA
2024



AFAF
ART FAIR ASIA
FUKUOKA
2024





ART FAIR ASIA
FUKUOKA
2024.9.20-22 **AFAF**



Volunteer Staff

ボランティア

アートフェアを支える立役者

開催前の準備期間の9月18日(水)、会期中の9月19日(木)～9月22日(日)にかけて、のべ100人を超えるボランティアスタッフに参加いただきました。会場運営をはじめ、出展者及び来場者の通訳としても活躍いただき、多くのボランティアスタッフのご協力により、AFAF2024は開催されました。改めてご尽力いただいたボランティアスタッフの皆さんに、この場を借りて感謝申し上げます。



ボランティアリーダーとともに



ボランティアスタッフ決起集会の様子



受付にて



ボランティアスタッフはAFAFオリジナルTシャツを着用

Visitor Survey

来場者アンケート

地域に根づく福岡のアートマーケット

AFAF2024来場者向けのアンケートの集計結果です。

前年よりも地元福岡や九州の来場者の割合が増加しました。そのなかでアート作品を購入したことがある来場者の割合(63%)が増加し、来場者の5人に1人(21.7%)が作品を購入、福岡のアートマーケットが確実に大きくなっていることが分かります。

回答期間：2024/9/19～10/11

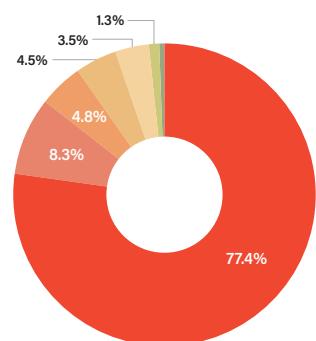
アンケート手法：Web回答(Googleフォーム)

言語：日本語・英語

有効回答数：314

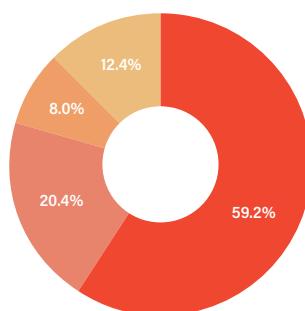
1. 居住地

- 福岡県
- 九州(福岡県以外)・沖縄
- 中四国
- 関東
- 関西
- 中部
- 東北



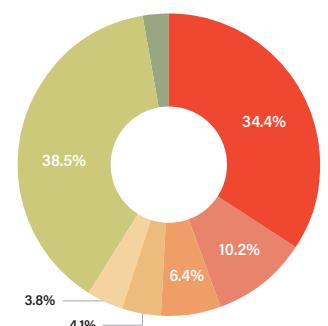
2. AFAF 来場回数

- 初めて
- 2回目
- 3回目
- 4回目以上



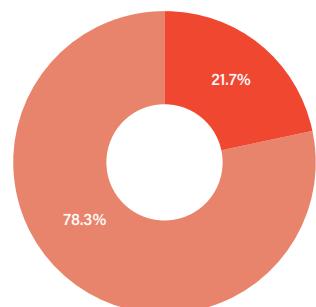
3. これまでに購入したアート作品の点数

- 1~4点
- 5~9点
- 10~29点
- 30~49点
- 50点以上
- 購入したことがない
- 回答しない



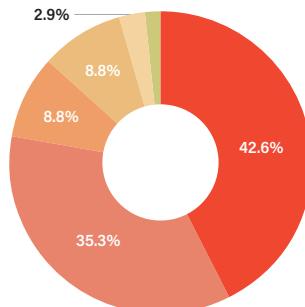
4. AFAF2024 での作品購入

- 購入した
- 購入していない



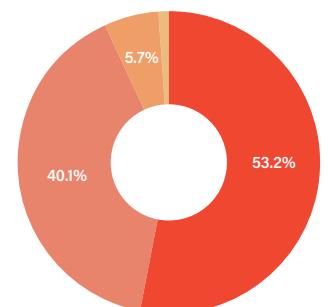
5. 作品購入総額

- 10万円未満
- 10~29万円
- 30~49万円
- 50~99万円
- 100~299万円
- 回答しない



6. AFAF2024 満足度

- 大変良かった
- 良かった
- 普通
- 良くなかった



Organization

運営組織

Director

阿部 和宣 (一般社団法人アートフェアアジア福岡 代表理事 / みぞえ画廊)
森田 俊一郎 (一般社団法人アートフェアアジア福岡 理事 / Gallery MORYTA)
井上 雅也 (一般社団法人アートフェアアジア福岡 理事 / 株式会社 TODOROKI)

Selection Committee

阿部 和宣 (一般社団法人アートフェアアジア福岡 代表理事 / みぞえ画廊)
森田 俊一郎 (一般社団法人アートフェアアジア福岡 理事 / Gallery MORYTA)
石橋 高基 (KOKI ARTS)
井上 雅也 (一般社団法人アートフェアアジア福岡 理事 / 株式会社TODOROKI)

Special Advisor

宮津 大輔

Global Executive Advisor

三田 丞次

Art Director

西村 祐馬
平野 萌乃 (株式会社TODOROKI)

Executive Office

玉井 徳真 / 中島 咲璃 / 土屋 裕仁 / 吉田 真尋 / 中川 正美 / 西村 久子 / 竹村 晴 / 村山 純夏 / 上杉 海玲 / 松本 千都 /
鈴木 里奈 / 櫻井 史恵 / 石井 茉羽 / Jeanne Lieurade
(株式会社TODOROKI)

Photographer

Hiroyuki Mori / 西村 祐馬 / 橋本 大 / 村山 直矢 / 日本デザイナー学院九州校 映像・写真科 (ボランティア)

ART FAIR ASIA
FUKUOKA
2024.9.20-22 **AFAF**

AFAF
ART FAIR ASIA
FUKUOKA
2024

Artwork: ソーラ・クルスン, Holding 2 (2018), フォトグラフィ, 42 x 28 cm



一般社団法人アートフェアアジア福岡

General Incorporated Association ART FAIR ASIA FUKUOKA

<https://artfair.asia>

info@artfair.asia